

バドミントン全九州選手権 多久高の田中・江里口ペアが準優勝！

5/11[Sat]~12[Sun]



▲準優勝に輝いた田中果帆（左）・江里口玲奈（右）ペア

高校生から社会人が出場する第66回全九州総合バドミントン選手権大会（主催：九州バドミントン連盟）が宮崎県宮崎市で開催され、多久高校の田中果帆・江里口玲奈ペアが女子ダブルスで準優勝に輝きました。さらに田中選手は、女子シングルスで4位という好成績を収めています。

山下大介監督は「夏のインターハイに向けてのいい弾みとなりました。高校最後の夏なので、悔いの残らないように上位入賞を狙ってほしいです」と話しました。

6月の県高校総体で2人は女子ダブルスで優勝、さらに田中選手は個人戦で優勝し、全国への切符を手にしました。インターハイに向けてみなさんの応援をお願いします！

子どもから大人まで真剣勝負！ 第5回 MTB-XC多久in鬼ノ鼻山

5/19[Sun]

第5回MTB-XC多久in鬼ノ鼻山（主催：サイクルショップブリット）が鬼ノ鼻山で開催され、小雨が降る中、20人のライダーが熱戦を繰り広げました。MTB-XCとは、マウンテンバイククロスカントリーの略で林道や登山道をコースにし、周回数とタイムを競う自転車競技です。

当日、エキスパートの部では岡山優太選手が優勝しました。サイクルショップブリット代表の野口さんは「鬼ノ鼻山は見通しが良く、九州各地のトップライダーが間近で見られる、とても良いコースです。今後は、より多くの多久のみなさんにも足を運んでいただき、この自然とマウンテンバイクの面白さを体感して欲しい」と話されました。



▲レースに出場した多久市在住の小川仁さん

何度でも立ち上がる いじめ撲滅プロレス大会

6/3[Mon]



▲満員の会場には老若男女が集まりました

いじめ撲滅を目的としたプロレス大会（主催：一般社団法人「あなたのレスラーズ」、共催：多久市商工会青年部）が東原庁舎中央校体育館で行われ、会場は来場した500人の熱気と歓声で溢れました。大会では、選手12人のシングルマッチやタッグマッチがあり、選手たちが何度でも立ち上がる姿に、来場者は「生でプロレスを見るのが初めてで、選手たちの頑張る姿に勇気をもらいました」と興奮した様子で話していました。

大会前には、中央校の5、6、7年生を対象にZERO1大谷晋二会長の「いじめ撲滅講話」があり、その中で大谷会長は「子どもたちが自発的に手を挙げて、自分の夢や目標を進んで発表する姿勢に驚きました」と感想を話されました。また、キッズ教室では、市内の子どもたち約150人が参加し、北村彰基選手がライオン式プッシュアップなどプロレス独自のトレーニングを指導し、一緒に汗を流しました。